

ふれあい通信 平成26年6月号



発行：国保坂下病院広報委員会 TEL 0573-75-3118

ホームページアドレス <http://sakashita-hp.jp/>

「ふれあい通信」は坂下病院ホームページでも御覧いただけます

連載こくほ四方山話

病院長 高山 哲夫

(106 石の顔)



ずっと前のことですが、長野県の医師会誌の求めに応じ、小学校時代の国語の教科書に載っていた話を引用して、地域医療についての一文を寄稿しました。その後、一通の手紙が手元に届きました。松本で内科医院を開業していた兄からでした。大学の教官であった兄は、当時全国的に吹き荒れた大学紛争の嵐の中で、医療、研究をそつちのけにして、足の引つ張り合いをする大学での生活に見切りをつけ、開業したのでした。同じように、私の母校でも、紛争に明け暮れる大学に嫌気がさし、大学を去った優れた先生方が沢山いました。そんな先生方の多くは「こんな先生ほど残って頂きたいのに」と思われる方々でした。

さて、手紙には「ホーソンの大きな石の顔を引用していたね」とありました。私が引用した「大きな石(岩)の顔」の話を読んだことがあり、作者の名前と共に憶えていたのです。同時にその話を引用した私の心も理解してくれていました。石の顔の主人公のアーネストは、幼い頃に母親から「あの山の石の顔にそっくりな人が現れ、この

地域を良くしてくれる」そんな地域の言い伝えを聞かされます。そのような石の顔に似た人物の出現をアーネストは待ちわびます。「石に顔にそっくりな人が現れた」そんな噂が飛び交う中、地域出身の大金持ちが故郷に戻って来ます。沿道の人々と共にその人物を眺めに行った時、彼はどうも石の顔ではないと思いました。その後も同じように、地域出身の将軍、政治家が現れる度に、人々は「今度こそ石の顔の人物だ」と騒ぎ立てます。しかし、そんな噂もいつしか消えてしまい、地域は変わらないまま、アーネストも年を取って行きます。地域の一介の農夫であるアーネストは、その篤実な人柄から、よく他の方の話を聴き、相談相手となる人物になっていました。そんな噂を聴いて、やはり「石の顔に似ている」と噂された町出身の詩人が、彼のもとを訪ねて来ます。アーネストと語らい、夕日に映し出されたアーネストの顔を見た詩人は「この人こそ石の顔の人物だ」と叫びます。幼い頃に国語の授業で出会っただけのこの話は、主人公の名前と共に何故か私の心に残っています。地域の医療を考える度に心に浮かんで来ます。

医療、健康への関心が高まった昨今「神の手を持つ名医」「安心できる病院」など、テレビや書籍、マスコミな

ど、全国の様々な優れた医師や優良病院が紹介されることが多くなりました。紹介される医師や病院は、無論とても優れた医師、病院だと思えます。でも、そのようなマスコミで取り上げられるごく一部の医師、病院だけで、日本の医療を支える訳ではありません。日本の医療は、全国の名もなき医師達によって支えられているのです。いくら「神の手」を持っているても、遠く離れていては、緊急時には間に合わず、猫の手にもなりません。それに、日常診療の中で、神の手を必要とするような病気はそんなにあるものではないかもしれません。それよりも、地域の私達にとっては、地域に根付いて、必要な時に必要な医療を提供してくれる医師、医療機関が必要なのです。神の手のように有名である必要はないのです。しかし、残念ながら、医療制度改革、新医師臨床研修制度の中で、地域から医師がいなくなってしまう。「いつかきつと石の顔に似た人物が現れ地域が良くなる」そんな人物を待ちわびるアーネストの気持ちは「いつかきつと地域のために赴任してくれる医師がいる。そんな医師が増えれば地域の医療はきつと良くなる。」と思う私の気持ちと同じです。

・・・そう言えば、「石」と「医師」は発音が同じですね。



医師のひとりごと

内科 信太博

今回は、2つの話題を書かせていただきます。

「職員確保にチャンス？」

この坂下病院を含め中小病院は、ここ数年、国の政策で厳しい人材不足に陥っています。昔は「病院はつぶれない」「地域拠点なら大丈夫」などと言われてきましたが、今はそうでもありません。実際ここ数年では、中小病院は廃院となつていくところがあります。私の知り合いの病院も廃院となり、その友人は開業しました。

最近「医師・看護師 大激変」と見出しのある雑誌を買いました。そこには、大病院の収支にまつわること、人事のこと、昔と今の医師・看護師のこと、などが記載されています。その雑誌の内容は、国の方針に沿って大病院での報酬をより細かく分けていくものでした。大病院には看護師がたくさんいることを、みなさんはご存じですか？7対1看護（看護師1名が担当する患者さんの人数が7人）に

しようとして、大きな病院は看護師を集めているのです。（報酬も多いのです）しかし、今年度の診療報酬改定で、これを10年かけて減らしていくことになったのです。そうすると、今7対1をしているところでも、厳格な規定が発生することから減収となり、不要なスタッフなどは解雇されてしまう可能性がでてきます。ここで、地域医療をしている病院にはチャンスが生まれます。当院でも、魅力的なものがあれば、看護師が増える可能性が出てくるということでは、何が魅力なのでしょう？

私は、地域の抱えている問題、高齢者への医療体制を充実していくことが大切ではないかと考えています。例えば、認知症対策を充実すれば（認定看護師などの育成など）、そして、そのことが病院のホームページなどに記載されれば、それを見る人も増えると思います。できるだけ早くに取り掛からないといけない問題であると思います。医師不足についても、同じようなことが言えます。昔、小泉元総理大臣が医局制度にメスを入れて

から、大病院志向であった人気に変化し、今は「自分のやりたいことをできる病院」に就職が集まっているようです。医師の場合、専門性とそれを教えるスタッフが必要であることから、当院では、すぐに増員はできないかもしれないのですが、何とか増員できれば、もう少し他のことにゆつくりと取り組めるのではないかと思います。

現状では、外科の先生も少なくなり、内科も同様の時が長く、一人の負担は増加する一方です。みなさんにも、今以上に関心をもつて頂き、より良い環境で入院・外来ができるように、中津川市に働きかけていただければと思います。

安定した

地域医療の

ために



「糖尿病教室について」

「坂下病院糖尿病教室」ですが、より良い方法を考えながら3年間継続してきました。

教室で中心にしてきた内容は、

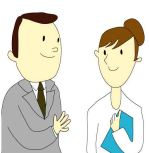
食事療法と運動療法でした。しかし、これは糖尿病だけに限らず、高血圧、高脂血症など、テレビなどで話題になっている疾患にも関係しています。また、糖尿病でない患者さんや家族の方にも、いろいろな疾患に関心をもってもらえるような場所にしていきたいと考え、3年間続けてきた「糖尿病教室」を一旦終了することにしました。

今後は、以前から当院にはありませんでしたが、最近医師不足などにより活動が制限されていた「ふれあい健康塾」と「糖尿病教室」を合わせて、再度スタートすることにしました。

約10年前に、各地域に出向き、講義形式で行っていた活動も再開する予定です。

まずは、来年になってから、保健師と相談しながら、活動をスタートしていきたいと思っています。

これまで「坂下病院糖尿病教室」に参加して頂いた皆様、ありがとうございました。そして、これからは、新しく生まれ変わる「ふれあい健康塾」を宜しくお願いたします。



坂下病院 「看護の日」



今年も5月17日(土曜日)きりら坂下駐車場特設会場にて、国際ナースデーの全国行事「看護の日」を、坂下病院看護部主催で開催しました。晴天に恵まれ、心地よい風が吹く中、今年も、例年通りの血圧、体脂肪、骨密度測定に加え、当院理学療法士による「誰でもできる簡身体操」と題した、肩・膝・腰をほぐしリフレッシュできる体操を行いました。



体操は、今回が初めての試みでしたが、参加された方は、真剣に楽しそうに体操を習い、「これなら家でもできる」と言う声も聞かれました。次回もまた「参加して良かった」と感じて頂けるよう、計画を立てたいと思います。

そして、今回も坂下高校からは15名の生徒さんが、ボランティアとして参加してくださいました。風船配りなどのお手伝いをしていただき、若さあふれる、活気のあるイベントになりました。



どんな行事も、皆さんの協力なしでは成り立ちません。今回来場して下さった方々、参加協力して下さった坂下高校の先生、生徒さん達、当院職員の方々、本当にありがとうございました。



*看護の日：毎年5月12日の国際ナースデーの日本で制定された記念日です。ナイチンゲールの誕生日に由来し「ナイチンゲールの日」とも呼ばれます。

連載 四季の画

坂下病院 花暦

今月の花：(ミズバショウ)



ミズバショウ(水芭蕉)は、サトイモ科ミズバショウ属の多年草。主としてのミズバショウは一種と言われる。湿地に自生し、発芽直後の葉間中央から純白の仏炎苞(ぶつえんほう)と呼ばれる苞(ほう)を開く。これが花に見えるが、仏炎苞は葉の変

形したものである。仏炎苞の中央にある、円柱状の部分が、小さな花が多数集まった花序(かじよ)である。開花時期は、低地では4月から5月であるが、高地では融雪後の5月から7月にかけてとなる。葉は、花の後に出る。根出状に出て立ち上がり、長さ80cm、幅30cmに達する。和名の「バショウ」は、芭蕉布の材料に利用されているイトバショウの葉に似ていることに由来する。



季節の画を提供して下さる三浦貞夫さんは木曾郡南木曾町田立在住。現在もりハビリをしながら絵を描き続けており、その作品はリハビリ室前の廊下にも掲示しています。

職員募集！ 介護福祉士・ヘルパーさん

療養病棟及び一般病棟で勤務していただける方を募集しています。

清潔介助や環境整備が主な業務です。

60歳未満で、この仕事に関心がある方なら、どなたでも、性別は問いません。

勤務時間など相談に応じます。ご連絡をお待ちしています。

* なお、看護師、准看護師の募集も行っています。

* 坂下老人保健施設でも、看護師、准看護師、
介護職員の募集を行っています。

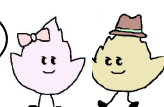


連絡先：0573-75-3118（内線210）

松本看護部長

吉村看護副部長

お待ちしております



☆ お 知 ら せ ☆

催し物	日 時・場 所	内 容
糖尿病食試食会	6月10日（火） 6月24日（火） 午前11時～3階食堂	予約：坂下病院栄養科（内線164） お電話でおねがいします。 会費：310円（食材費）
糖尿病教室	「ふれあい健康塾」として 来年より開始予定です。	今月号紙面内側に詳細があります。
ふれあい健康塾	「糖尿病教室」と合併し 来年より再開予定です。	今月号紙面内側に詳細があります。

☆坂下病院各科診療表 診療状況により予約時間どおりには受診できない場合があります。予めご了承ください。
(平成26年6月現在) 予約変更などのお問合せは、平日午後2時以降に各科受付窓口へお願い致します。

診療科目	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
内科	第一(予約)	高山	酒井	高山(午前)	高山(午前)	酒井
	第二(予約)		近藤【呼吸器】	伊藤	高塚	田口【呼吸器】午後
	第三(予約)	信太(午前)	村瀬	信太		高塚(午前)
	新患外来	酒井	高塚	告野	信太	高山
	午前内科		大野【神経内】第3			佐橋【神経内】第1.3
	午後診療特殊			井上【漢方】第2.4 13:00~ 青木【腎臓】隔週		渡邊【腎臓】隔週
	午後診療	高塚	高塚	告野	酒井	信太
外科	第一	横井	保坂【血管外科】			杉本(第2.第4)
	第二	近藤	近藤	近藤	近藤	水野
整形	第一	小嶋【リウマチ】	草野	小澤	草野	草野
	第二	矢野	赤根	矢野	矢野	山下
小児科	杉本	杉本	杉本	杉本	杉本	杉本
眼科	木下 受付11:00まで	木下	木下 受付11:00まで	木下	木下	木下
泌尿器科	渡邊			山田 第1.3.5 青木 第2.4	深津	
耳鼻咽喉科	小川	西村	清水	矢野原	稲川	
皮膚科			伊能 第1.3.5 松本 第2.4			
脳神経外科				大須賀 14:00~		
婦人科				浅井 第1.3	萬羽(午前)	